

学力向上に向けた授業改善のポイント（英語）

県北教育事務所

- ◇ 様々な英文を読み取り、その内容についての設問に適切に答えることができる。
平成27年度福島県学力調査 定着確認シート1年第6回大問5

【よさを伸ばす指導】

- ・ 教科書の暗唱にとどまらず、生徒の習熟の様子を考慮しながら教科書以外の英文も活用して、多くの英文に触れる機会を増やす。
- ・ 読み取った内容についての事実発問にとどまらず、推論発問や評価発問も取り入れ、生徒が繰り返し読みたくなる状況をつくる。
- ・ 生徒同士で交流しながら、感じたことを英語で表現する活動も取り入れる。

- ◇ 場面に応じた特有の表現を使って、会話をすることができる。
平成27年度定着確認シート1年第4回大問3 第6回大問1

【よさを伸ばす指導】

- ・ 帯活動等において、ペアやグループで英語を使って伝え合う活動を継続する。考えて話すこと（言葉を選ぶこと）ができるように工夫を加えていく。
- ・ 習熟に応じて言い直しをさせるなどして、正しい発音や文法に気付かせていく。

- ◇ 状況や場面を把握し、考えや意見等を正しい語順で表現することができる。
平成27年度定着確認シート1年第5回大問4 第6回大問4
平成28年度定着確認シート2年第1回大問1 第2回大問3

状況や場面に応じて必要な表現を発想したり、未習や使用頻度の低い語（句）であっても、既習事項を駆使して正しい語順で伝えることが課題である。

【改善策】

- ・ テーマ別英作文、3行日記など、考えや意見を書く機会を増やしていく。
- ・ 修正するポイントのみを与えて、生徒に書き直させるなど、気付かせる指導を継続する。

- ◇ 聞き取ったり読み取ったりしたことを自分の言葉にして伝えることができる。
平成28年度定着確認シート2年第1回大問5

対話文を要約した英文の空所に補充する問題の正答率が低い。要約したり言い換えたりする機会が少ないのではないかと推測される。

【改善策】

- ・ 代名詞や時や場所を表す副詞(then, here, there など)の用法に注意をして、別な英語で言い換える活動を取り入れていく。
- ・ 聞き取ったり、読み取ったりしたことについて、要約をしたり、そのことを話題にして会話したりするなど、実態や題材に応じて統合的な言語活動を計画的かつ効果的に取り入れていく。

- ☆ 年間を通して4領域のバランスが取れた指導を継続しましょう。(CAN-DOの活用)
☆ ねらいを明確にした授業を継続しましょう。「何ページ？」→「何ができた？」
☆ 小学校外国語活動の成果を共有しましょう。(もちろん英語教師間でも)

～ 小学校外国語活動では ～

- ◇ 教室英語の使用を心がけ、日本語を減らしてください。
- ◇ 単元のゴールを見据えた授業設計を心がけてください。
- ◇ 言語活動を工夫し、児童が言葉を選ぶ場面を設定してください。